

# 「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 6 月 10 日

仕 事 の 内 容	習熟の程度等に応じた少人数学習指導員配置事業				
担当部署・課長名	指導室	課	指導	係	課長名 岡田 博史

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 学校教育の充実

(総合計画書 31 ページ)

予算名	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 3	教育指導費	事業 11	教育指導管理事務費	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 主に小学校3、4年生及び中学校1、2年生を対象に、小学校の算数又は理科、中学校の数学又は英語の授業において少人数学習を行っている。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 児童・生徒数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 児童・生徒の授業でのつまづきを防ぎ、基礎学力の定着を図り、基礎的な学力向上を図る。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 実態調査による「算数(数学)において、自分の学力に応じたコースに分かれた授業を受けることについてどう思いますか」について「よい」と回答した数値(%) ㊦ 算数：小学5年生、㊧ 数学：中学2年生			
	③ そのために何をしましたか。 小学校全教科及び中学校数学・英語の教員資格を有する者の嘱託員(学習指導員)として委嘱し、各小・中学校の少人数学習指導を行っている。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → ㊦ 配置校数、㊧ 配置時間			

		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	6,640	6,609	6,571	
	成果指標	②の数値	点	㊦不明 ㊧不明	㊦55.4 ㊧43.9	㊦66.4 ㊧56.9	
	目 標	②の目標値					
			目標値設定の考え方				
	活動指標	③の数値		㊦15 ㊧12,031	㊦15 ㊧11,841	㊦15 ㊧12,258	

3 経費	事業費		円	24,062,000	23,682,000	24,515,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	24,062,000	23,682,000	24,515,000	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.04	0.04	0.04	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	329,320	329,320	329,320		
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	24,391,320	24,011,320	24,844,320		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 本事業は、平成15年度から平成17年度までの研究(試行)期間を経て、平成18年度から本格実施に移行した。当初は、小学校2校、中学校1校をモデル校に指定し、平成18年度以降順次配置校を増やした。児童生徒のつまづきや学力低下が問題となる中、基礎学力の定着を図る必要があった。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 学力調査の結果が上向いている。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 平成18年度本格実施以降、少人数学習に対する関心の高まっている。	

仕 事 の 内 容	習熟の程度等に応じた少人数学習指導員配置事業				
担当部署・課長名	指導室	課	指導	係	課長名 岡田 博史

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。				
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。			
	現在のクラス分割による少人数学習指導のほか、チームティーチング等を取り入れる等、運用方法を見直す余地がある。			
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など) 運用方法の見直し。			
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。 嘱託員の勤務条件の改善と運用方法の改善を進めたい。			
	(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成 果	成果を向上させる。		経 費	仕事の経費は維持する。